学校番号	401

令和8年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	精選　論理国語　（東京書籍）						
副教材等	・新版完全征服頻出入試漢字コア2800改訂版（桐原書店） ・新訂版常用国語便覧（浜島書店） ・流れと演習　新日本文学史改訂版（啓隆社） ・三訂版プログレス〈読解・論点・探求〉現代文総演習・発展編（いいずな書店） ・読解を深める現代文単語（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「実社会・実生活」に生きて働く「国語の能力」を高めるために大切な授業です。主体的に積極的に学習に取り組んでください。
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けつつ、論理的・批判的・創造的に考える力を養い、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を伸ばすように心がけて下さい。
・授業では「読む」活動だけでなく、話し合いや論述などの「話すこと」・「聞くこと」・「書くこと」の活動も行います。現代社会は、これまで以上に高い国語の能力が必要とされています。実社会や実生活に生かせるよう、「言葉の特徴や使い方」に関する知識や技能を身につけ、「思考力」・「判断力」・「表現力」等の能力を育成し、「国語の能力」を高められるよう努力してください。
・「国語の能力」は毎日コツコツと身に付けていくものです。日頃から、相手が確実に理解できるように自分の考えを適切な言葉で表現することを心掛け、日本語で書かれたさまざまな文章を読んで的確な表現や美しい表現に接する機会を増やすことが大切です。
・本文を読み、わからない漢字の読みや語句があれば、辞書などで調べましょう。それでもわからないことや疑問に思ったことは授業で解決し、学んだことは必ず復習をして身につけてください。
・授業中のノートについては、板書以外でも重要なことだと思えばメモしておきましょう。小テストは家庭学習が重要です。テスト範囲はしっかりと学習し身につけてテストに臨みましょう。課題は必ず取り組み提出期限を守ってください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思い　や考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての　自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・論の展開を意識して主張を理解し，言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。 ［教材］言語と記号（丸山圭三郎）	a 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c 粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ，学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について，自分の考えを深めようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 指名音読 発問評価 課題
	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。 ［教材］鏡の中の現代社会（見田宗介）	a・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c 進んで筆者の主張と，論拠となる五つの具体例の関連性を理解し，今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 指名音読 発問評価 課題

		社会を知ることの意義をつかもうとしている。			
	・話題と主張の関係に着目して読み，時代とともに変わっていく本の在り方について考える。 ［教材］おじいさんのランプ （宇野常寛）	a・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 b・「読むこと」において，設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c 進んで筆者の主張と，その論拠となる具体例を捉え，学習の見通しをもって自分の日常生活に引き寄せて社会の発展に伴う本の在り方について，自分の考えを明確にして論述しようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 課題 話し合い
二学期	・文字の身体性について書かれた評論を読み，筆者の価値観を理解することで新たな視点を持つ。 ［教材］読み書きする身体（港千尋）	a・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c 進んで本の物質的な意義と読書の身体性の関係を具体例から読み取り，今までの学習を生かして書物を通した読書経験について，自分の考えを深めようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 課題 話し合い
	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、進歩する技術とともに人間のありようについての自らの考えをまとめる ［教材］原始社会像の真実（新納泉）	a・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 c 進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し，学習の見通しをもって社会に対する歴史的見方や考え方を深めようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 指名音読 発問評価 話し合い 課題
	・事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え，知性の意義について自分の考えを深める。 ［教材］ 社会の壊れるとき（鷲田清一）	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 c粘り強く具体例や引用と筆者の主張	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 話し合い 課題

		の関係を捉えて論理展開を理解し，学習課題に沿って社会の現状と結び付けて，「知性的」であることの必要性を，具体例を挙げながら述べようとしている。			
三学期	・筆者の述べるサッカーと資本主義の関係について理解し，社会に対する見方を広げる。 ・書かれている内容を理解し，「サッカーにおける『資本主義の精神』」を読み深める。 ［教材］サッカーにおける「資本主義の精神」（大澤真幸）	a 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している c 粘り強く「オフサイドのルールがない」という現象から導き出す本質と，ボールゲームのゴールの数と資本主義の投資の反復との類推の関係から，筆者の主張を捉え，学習の見通しをもって主張の論拠を批判的に考察し，自己の社会学的視点を深めようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 課題 定期考査	授業態度 指名音読 発問評価 発表
	・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し，人間に対する理解を深める。 ［教材］抗争する人間（今村仁司）	a・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c 進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って他者との関係性の構築について，自分の考えを述べようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 課題 定期考査	授業態度 指名音読 発問評価 課題

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと … （ 5 ）時間

・書くこと … （ 25 ）時間

・読むこと … （ 40 ）時間